

2. 住民と行政が一体となったまちづくり

1. 町民参加——夜の町長室、アンケートなど実施
夜の町長室(毎月1回・第1火曜日)、各種アンケート、広報くろさきの発行など広報広聴活動の充実を図ります。63年度に第5回町民世論調査、新成人アンケートは毎年度実施します。
2. 行財政——行政改革大綱に基づき合理化を推進
行政改革大綱に基づいて職員の資質向上、事務の近代化、財政の効率化を進め、町民サービスの向上に努めます。具体的には①事務の見直し、組織・機構の簡素化・合理化②O A

- 化推進(ワープロ、ファクシミリの導入)③職員研修の充実④民間委託の検討などを進めます。
3. 広域行政——広域市町村圏協議会での取り組み
本町だけでは対応できない広域的な課題については、関係市町村と連携して取り組んでいきます。具体的には①広域観光モデルルートの設定②北陸自動車道黒崎南インターチェンジ(仮称)の設置推進③新潟交通電車の新潟駅乗り入れの推進などの課題を、黒崎町はじめ新潟市など4市7町7村からなる新潟地域広域市町村圏協議会の中で取り組んでいきます。

事業名	昭和63年度	昭和64年度	昭和65年度
行財政 O A 化推進事業	ワードプロセッサ導入 ファクシミリ導入		

3. 緑あふれる快適なまちづくり

1. 道路網——高速交通に対応した町道の整備
町道では、64年春に供用開始を予定されている西バイパス小新インターへのアクセス道路として、立仏14号線の舗装、山田立仏2号線の整備を進めます。生活道路の整備も進めます。都市計画道路は西バイパスの小新インター・亀貝インターへ通じるルートや決定済みの路線も含め、検討します。
国県に対して①国道8号線の未改良部分の早期完成②西バイパスの早期供用③新潟寺泊線バイパスの早期供用④帝石橋の早期完成⑤新潟燕線の早期改良⑥黒崎西川線の歩道整備を、また新潟市には都市計画道路小針バイパスの早期完成を、要請していきます。
2. バス・鉄道——高速バス停車増設を検討
バス各路線の増発などについて協議を進めるとともに、東京-新潟高速バスの鳥原停留所からの乗降も要請していきます。高速バス駐車場の増設も検討していきます。
通勤・通学に重要な新潟交通電鉄には引き続き県とともに補助を行っていきます。
3. 住宅・環境——土地区画整理事業を促進
区画整理事業を促進するため、指導・援助を行っていますが、的場・緒立土地区画整理事業の促進のため、区画整理組合に補助を行っていきます。
また、住宅事情の改善を図るため、62年度から開始した持

- 家住宅建設資金貸付事業を引続き実施していきます。
4. 公園・緑地——児童遊園を整備
すでにある児童遊園にフェンス、遊具などを設置し、子供の安全な遊び場として管理を徹底します。
5. 上水道——老朽化した水道管を新しく
老朽化した水道管を計画的に敷設替えや増径工事をしていきます。
6. 町営ガス——安全確保に各種施策
老朽化したガス管を計画的に敷設替えしていきます。また、安全に利用できるよう①安全性の高いガス機器やガス漏れ警報機の普及②ガス管の漏洩検査③ガスホルダーの開放検査(64年度)を行っていきます。
7. 下水道——公共下水道の基本計画作成に着手
大野都市下水路は61年度から一部供用を始めましたが、今後はさらに幹線排水路の整備を図ります。また、市街地の都市排水路の改修を行って集水区域の面的整備にも努めます。
64年度から公共下水道の基本計画を作成し、事業実施に向けて検討を進めます。
8. 廃棄物——ごみの分別収集をPR
ごみの分別収集の周知徹底などを推進します。リサイクル運動や自家処理の啓蒙に努め、排出量の減量化を進めます。

(単位:千円)

事業名	昭和63年度	昭和64年度	昭和65年度			
道路網 町道整備事業	鳥原寺地線改良	127,000	鳥原寺地線改良	142,200	鳥原寺地線改良舗装	167,200
	鳥原寺地線用地補償		鳥原寺地線用地補償		鳥原寺地線用地補償	
	山田立仏2号線用地補償	20,000	山田立仏2号線用地補償	40,000	山田立仏2号線用地補償他	50,000
	上越新幹線側道用地	21,450	上越新幹線側道用地	21,398	上越新幹線側道用地	21,397
その他の路線用地補償改良舗装	101,921	その他の路線用地補償改良舗装	120,000	その他の路線用地補償改良舗装	140,000	
住環境 住環境整備事業	的場・緒立区画整理事業補助	4,600	的場・緒立区画整理事業補助	20,000	的場・緒立区画整理事業補助	20,000
公園 児童遊園整備事業	フェンス工事 遊具設置	650 500	児童遊園整備	4,000	児童遊園整備	5,000
水道 水道管整備事業	水道本支管敷設工事及び 新設工事	93,200	水道本支管敷設工事及び 新設工事	53,800	水道本支管敷設工事及び 新設工事	53,800
ガス ガス管整備事業	ガス本支管敷設工事及び 新設工事	57,790	ガス本支管敷設工事及び 新設工事	39,250	ガス本支管敷設工事及び 新設工事	52,500
保安 保安関連整備事業	安全アダプターの装着他	13,000	安全アダプターの装着他 ガスホルダー開放検査	12,000 25,000	ガス漏れ消費機器調査他	12,000
下水道 都市下水路整備事業	都市下水路築造	135,273	都市下水路築造	200,000	都市下水路築造	200,000
	ポンプ場設備	1,000mm				
	ポンプ1台	164,727				
都市排水路整備事業	都市排水路改修	28,508	都市排水路改修	70,000	都市排水路改修	80,000



公民館作品展

小平方谷処理場

町道整備

黒崎茶豆早出化の収量調査

着実な前進のために 昭和65年度までの 実施計画を策定

町では昭和六十三年四月に実施計画を策定しました。これは六十一年三月に「人と緑と産業の調和したまち」を基本理念として策定された第三次総合計画を実現するためのものです。

総合計画がまちづくりの長期的な展望、方向づけを示したものであるのに対し、実施計画は総合計画をふまえて短期間の事業計画を具体的に示し、これからの町の行財政運営の指針となります。昨年策定した六十四年度までの実施計画と新しく出てきた行政上の課題をもとにまとめたものです。

今回策定された実施計画は、昭和六十三年から六十五年までの町の主要な事業を体系的・具体的に示したもので、今後三年間の町の行財政運営の指針となります。

なお、財政状況の変化などにより、計画の実施が困難となることも考えられます。そのため、毎年度、計画の見直しを行い、計画の実効性を確保します。

※表のうち六十三年度のものは予算措置してあります。六十四年度、六十五年は予定です。

1. 豊かで活力みなぎるまちづくり

1. 農業——米・野菜などバランスのとれた農業を
農村総合整備モデル事業により①用排水施設・農道整備②農村の生活環境改善のため集落道・集落排水の整備を進めます。農業生産については、米を中心に野菜などバランスのとれた生産性の高い農業確立のため①優良銘柄米の量産体制②茶豆・ブロッコリなどの特産物の定着②野菜・園芸の生産流通体制の改善・強化などを推進します。
- また、意欲ある農家への農地の集積を図り、農業後継者の育成に努めます。機械施設の効率的利用などを目的とした生産組合の育成を農協を中心に図ります。
2. 商工業——活性化のため補助・資金貸付けなど
商工会が商工業者の事業活動を促進するための指導・育成相談研究などに対して補助を行っていきます。

- 中小企業振興のための地方産業育成資金や中小企業近代化資金の貸し付け、商店街組織が共同で行う歩道・街路灯などの整備に対する助成も引き続き行っていきます。
3. 観光——観光物産センターの受け入れ体制づくり
62年度に観光開発調査を行いました。今後はそれに基づいて観光振興対策の検討を進めます。
- 県の観光物産センターの計画が進められているので、その受け入れ体制づくりを進めます。また広域観光案内板の設置を西蒲原郡内の町村と商工会の共同事業で行います。
- また、広域観光モデルルートの設定とパンフレットの作成を、63年度に新潟地域広域市町村圏の共同事業として行い、広域観光体制の確立を進めます。

(単位:千円)

事業名	昭和63年度	昭和64年度	昭和65年度			
農業 農村総合整備モデル事業	生産・環境基盤整備	121,438	生産・環境基盤整備	130,000	生産・環境基盤整備	130,000